### 消防団幹部を紹介します

菊池市消防団は4月1日から新体制となりました。 荒木団長の下、「市民の生命、身体、財産をあらゆる災害か ら守り自らの地域は自らで守る」を使命に力を尽くしてい きます。

問い合わせ先 防災交通課 ☎ 0968(25)7203



団長 荒木新勝 平成 26 年 4 月団長就任



副団長 信岡富登志 菊池方面隊長





菊池消防団入団式を開催

菊池市消防団の入団式は

4月10日、菊池市総合体

育館で行われ、103人の消

荒木団長は「消防団員と

しての誇りを持ち、地域の

防団員が誕生しました。

副団長 赤星和彦 七城方面隊長



旭志方面隊長



副団長 高木正直 泗水方面隊長



副団長 佐野木成俊 菊池方面副隊長

永田智久



副団長



七城方面副隊長



旭志方面副隊長

副団長



ク川裕徳 副団長 泗水方面副隊長

菊池方面副隊長			菊池方面副隊長	七城方面副隊長	旭志方面副隊長	泗水方面副隊長
▼各分団						
分団	分団長	団員数		٥	区 域	
第1分団	がわぐちょしかず 川□嘉一	146	上町、中町、下町、切明、迎町 堀切、稗方、遊蛇口、袈裟		町、栄町、東、西正観寺、亘、築	地、高野瀬、北原、立石、片角
第2分団	岩木俊介	76	松島、神鶴、柿木平、日下	句、中原、藤田、上木庭、	下木庭	
第3分団	茂藤寛和	103	鍋倉、佐野、原細永、日生	野、伊牟田、永山、伊野、村	生、木護、柏、戸城、鉾之甲.	、下組、長六、塚原、岩平
第4分団	とみた たかゆき 冨田貴幸	71	雪野、寺小野、染土、長野	野、龍門1、小木、鳳来、	穴川	
第5分団	まかもとしゅういち 阪本修一	100	東迫間、西迫間、市野瀬、中野瀬、七坪、太田、戸豊水、大柿、平野、茂藤里、篠倉、伊倉、道園、金峰、生味、立門、木佐木、滝黒仁田、古川			
第6分団	音ををせいいち 色本聖一	120	辻、上西寺、中西寺、南古閑、	北古閑、下西寺、神来、野間	間□、東原、深川、大琳寺、北宮	、大塚、村田、上長田、下長田
第7分団	藤﨑博文	123	上出田、下出田、広瀬、村	直古閑、木柑子、花房台、	今、甲森北、乙森北、上西	5閑、上赤星、下赤星
第8分団	秋岡秀一	79	山崎、上水次、下水次、同	岡田、流川、辺田、荒牧、	台、瀬戸口、高田	
第9分団	佐々 誠	112	甲佐町、新古閑、清水、富	宮園、菰入、間所、戸田!	島、田中、本村、加恵、五流	毎、西郷、羽根木、蟹穴
第 10 分団	杉水秀樹	79	岩瀬、前川、板井、梶迫、	林原、元村、内島、打造	越、新村、小野崎、大尺、村	公島、上橋田、下橋田
第 11 分団	水上兼司郎	144	津留、小原、高柳、湯舟、	北桜ケ水、南桜ケ水、	平、小川、姫井、楠原、九ノ	ノ峰、岩本、伊萩
第 12 分団	芹川芷萱	107	妻越、大迫、高永、伊坂、	川上、川下、出分、あ	さひが丘、川辺南、片川瀬、	尾足
第 13 分団	平山 将	101	薬師、上高江、竹の下、福 富の原東、富の原北、富の		分、田中、富、朝日団地、村	吉、富の原中央、富の原台、
第 14 分団	苦莊萱樹	93	永出分、桜山一~九、富紹	纳、永、永南、南住吉、.	上住吉、北住吉、飛熊	
第 15 分団	岩下洋一	93	久米一、久米二、三万田、	高江、高江出分、田島 <del>-</del>	ー、田島二、猪の目、岡、 <sup>፯</sup>	P野、井戸方、佐野、糠泉
本部機動隊		75	市内全域			
計		1,622				

# 一次菊池市行政改革大綱

**心**企画振興課

**2**0968 (2) 7250

**率的な行政運営」に取り組みました** 「行政サービスの充実」と「簡素で効

アル 組みました。 民間委託といった民間活力の活用▼職 具現化するため、 運営に取り組みました。 広報広聴活動の充実-NSの活用やホ の一部導入▼窓口開庁時間の延長▼S 員数の適正化▼コンビニ払込サー ービスの向上と簡素で効率的な行政 主な取り組みとしては、 「市長と語る会」の実施による 20の実施項目に取り ムペ ージの など、 ▼民営化や リニュー 行政 -ビス

荒木団長から新入団員に辞令が交付 されました

安全と安心を守るために活 躍されることを期待します」と訓示しました。

> んでいきます。 していますのでご覧ください 詳しい内容は、 ホ

平成22年度~26年度

合計画に掲げる「行財政の効率化」を 26年度までを計画期間として菊池市総

第二次行政改革は、

平成22年度から

### コンビニ払込サービスの実施 ■主な取り組み内容

開庁時間の延長 ビスを導入し、 きるようになりました。 上下水道料金のコンビニ払込サ いつでも支払い がで

10校に統廃合し、児童の良好な教育環 学校規模の適正化 しました。 小学校を14校から

ンビニでの証明書交付サービスも開始 務を利用できるようになりました。

を民間移譲し、 公立保育園の民営化 境の整備を図りました。 建て替えや管理運営などのコストを削 への迅速な対応が可能となり、 多種多様な保育ニー 公立保育園3園 施設の ズ

的かつ質の高い行政サービスが提供で

引き続き行政改革に取り組

営資源を有効に活用し、

安定的・継続

ことができました。

今後も限られた経

4 億 1

00万円となるなど、多くの

単年度の財政効果は、

合計で約

項目で達成でき、一定の成果をあげる

仕事帰りでも窓口業

市民の利便性の向上 ■実施項目

⑥市民との恊働を推進するシステ

⑦広報広聴の充実

もの

目標に達しなかったため、

今後も推

進するもの

(3) (4) (6)

⑧行政評価による総合計画の進捗管理 成果重視の行政運営 ムページに掲載

老人ホー

ら、平成27年度当初の職員数は484 人となり、38人の職員を削減しました。

### (20項目)

②開庁時間の延長・休日開庁

コ

③窓口業務改善の推進

の検討推進

⑤財政状況の公表 行政の透明化

養護老人ホー ウを活用し、サービスの充実とコス ムを民間移譲し、民間のノウ ムの民営化 2 園の養護

①税などのコンビニ払込サ ビスの検

®特別養護老人ホーム 切新市建設計画の見直

④各種業務の電子申請の活用と電子化

⑩土地開発公社の見直し

⑪第3セクター見直し方針の推進

外郭団体の見直し

ムづ

完了したもの

実施項目別の達成状況

目標は達成したが、さらに推進す

á

## 組織体制の見直しと定員管理

削減を図りました。

平成22年度当初の職員数522人か

## ⑨公立保育園の民営化の推進 民間活力の活用

⑭学校規模の適正化 ⑬職員の意識改革と計画的な人材育成 ⑫組織体制の見直しと定員管理 効率的な組織体制 ⑩公立幼稚園の民営化の検討 ⑪養護老人ホー ムの民営化の推進

## ⑤地理情報システム G I S

の活用

財政の健全化

## ⑯公有財産の総点検

🍞 | 広報きくち | 2016 May | 8

ムの総点検